

光星男子 頂点

女子は光星準優勝

青森県高校総体代替大会
 夏季競技大会

青森県高校総体代替大会は26日、バスケットボールとサッカー男子が行われた。バスケットボールは男

(取材班)

バスケットボール

【男子】
 (青森市マエアリーナ)

▽準決勝
 八学光星 92-76 弘前実
 工大 102-86 青森山田
 八学光星 85-20-24-69 工大

【女子】

▽準決勝
 柴田 60-48 青森商



【バスケットボール女子決勝・柴田-八学光星】第4クォーター、シュートを放つ八学光星の北上玲奈(右)

○：女子の八学光星は決勝で県高総体5連覇の柴田に完敗。ただ、昨秋の新人戦は予選敗退だっただけに、北上玲奈主将は「目標の4強入りは達成できた。決勝まで来られたのは成長した部分」と納得の表情を浮かべた。

第1クォーターでわずから点と苦しい立ち上がり。チームカラーの粘り強いディフェンスが機能せず「簡単にシュートを打たれ過ぎてしまった」と反省した。一方、点差が離された後半になっても、選手たちのゴールへ向かう意識は途切れなかった。北上主将は「最後まで全員で戦おうという気持ちがあったのは良かった」と話し、秋のウィンターカップ県予選での巻き返しを誓っていた。

目標達成に成長実感

子で八学光星が工大一を下し優勝。女子の八学光星は柴田に敗れた。

サッカー男子は青森山田が八学野西を下し頂点に立った。

八学光星 71-64 弘学聖愛
 柴田 83-21-5-43 八学光星
 18 24 6
 14

粘り強く着実に加点

○：男子決勝では八学光星が粘り強い試合運びで工大を下して優勝を果たした。黒澤涼月主将は「結果にこだわったプレーを最後までできた」と胸を張

までできたとうなずいた。

中盤までは一進一退の攻防だったが、終盤は着実に得点を重ねた。黒澤は「プレーを読まれることもあつたが、相手のミスを見逃さず、攻撃につなげられた」と納得の表情。得点源となった新保圭都は「ディフェンスやリバウンドなどのプレーでシュートへの良いリズムをつくれた」と胸を張

った。

次の目標は秋のウィンターカップ県予選。新保は「全国大会出場を目指し、やれることをやり、最大限の力を発揮したい」と決意を新たにしていた。



【バスケットボール男子決勝・八学光星-工大】第2クォーター、八学光星は新保圭都(左)がシュートを決め、26-24とする。青森市マエアリーナ